

IV 通訳案内士を活用したガイドツアーの実施

通訳案内士を活用したガイドツアーの実施

1 実証実験の概要

博物館等において、語学能力及びガイドスキルの高い通訳案内士を活用したガイドツアーを実施し、外国人旅行者の満足度や博物館等の文化施設におけるガイドツアーの恒常的实施の可能性等を検討する。

1-1 実施の目的

(1) ガイドツアー実施の効果と課題の抽出

通訳案内士による外国人来館者を対象としたガイドツアーを実施し、外国人来館者の満足度やツアー実施の効果、今後の導入可能性に向けた課題等を調査・把握する。

(2) 通訳案内士のあり方に関する検討

平成21年より開催されている「通訳案内士のあり方に関する検討会」における議論や通訳案内士専門性研修事業の趣旨・実施目的をも考慮し、その検討をより深める材料として活用する。

1-2 実施内容・方法

(1) 通訳案内士の研修

「博物館等の文化施設における外国人旅行者の受入対応状況に関する調査」の結果等を踏まえ、実証実験を行う施設を2館選定（実施施設については次頁参照）し、各施設との協議・調整のもと、解説案内を行うゾーンと展示資料を選定した上で、担当する通訳案内士に対する学芸員等による事前研修やガイディングスキル向上に向けたトレーニングを実施する。

なお、対応言語については、ICT活用による実証実験と同様、訪日外国人旅行者数増大に向けた最重点市場に位置づけられている東アジア4市場及び欧米市場を考慮し、英語・中国語・韓国語とする。

(2) 外国人来館者を対象とした実証実験

実証実験実施館を訪れた外国人来館者を対象に、実証実験への協力（ガイドツアーへの参加）を依頼し、外国人来館者が使用する言語に対応した通訳案内士が、館内展示物に関するガイドツアーを行う。ガイドツアー終了後、参加者に対するアンケート調査を実施し、外国人来館者の満足度や評価、有償ガイドツアー導入に向けた課題や改善点等を調査する。

なお、調査票は英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語の4言語で作成し、各館100人、合計200人の外国人来館者に参加してもらうことを目標に実施する。

また、実施施設の担当職員及び各施設でガイドツアーを担当した通訳案内士に、今回の実証実験に関する意見等についてヒアリングを行う。

1-3 実施施設及び各施設での実施概要

「博物館等の文化施設における外国人旅行者の受入対応状況に関する調査」において、本実証実験への協力意向を示した11施設の中から、ICT活用による実証実験実施施設とあわせて、設置主体や館種等のバランス、外国人来館者数や外国人受入体制整備の状況等を考慮し、以下の2施設を選定した。実施の概要を以下に示す。

(1) 沖縄県立博物館

- 実施期間：第1期 平成23年2月1日（火）～2月6日（日）
第2期 平成23年2月11日（金）～2月13日（日）
毎週月曜日は休館。春節・週末を考慮して設定
- 実施日数：延べ9日間
- 実施時間：第1回 11：00開始、11：30終了
第2回 14：00開始、14：30終了

(2) さいたま市大宮盆栽美術館

- 実施期間：平成23年2月11日（金）～13日（日）、19日（土）～20日（日）、3月13日（月）
毎週木曜日は休館。週末や関連行事を考慮して設定
週末を中心とした来館が多い点、同時期に我が国を代表する盆栽展と言われている「国風盆栽展」が開催されることに伴い、外国人の来場者が期待できる点を考慮し、実施時期を設定
- 実施日数：延べ6日間
- 実施時間：第1回 11：00開始、11：30終了
第2回 14：00開始、14：30終了

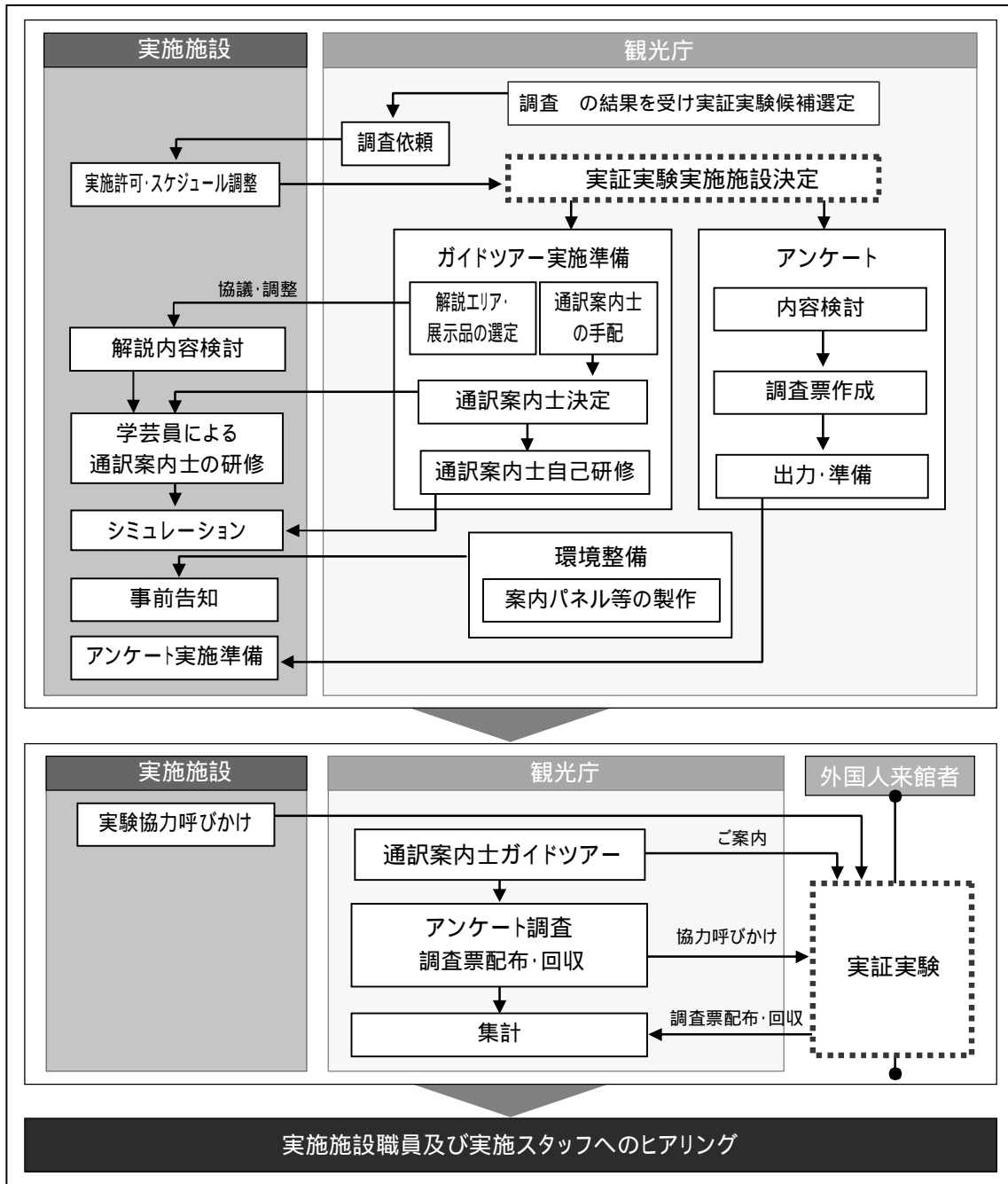
1-4 実施結果

沖縄県立博物館で166名、さいたま市大宮盆栽美術館で80名の参加を得ることができ、アンケート調査票回収数は沖縄県立博物館151サンプル、さいたま市大宮盆栽美術館71サンプル、合計222サンプルとなった（ガイドツアー参加者数とアンケート調査票回収数に相違があるのは、家族連れでの参加が含まれるため）。

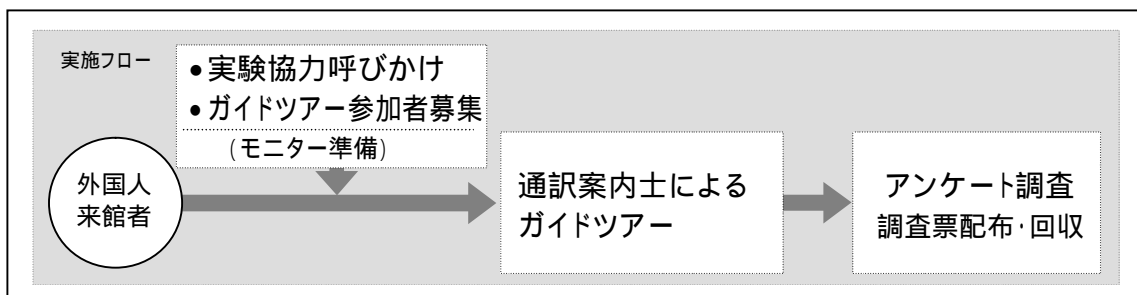
<実施施設別・回答言語別の調査票回収数>

	英語	中国語 簡体字	中国語 繁体字	韓国語	全体
全体	84	39	36	63	222
	37.8%	17.6%	16.2%	28.4%	100.0%
沖縄県立博物館	45	31	26	49	151
	29.8%	20.5%	17.2%	32.5%	100.0%
さいたま市大宮盆栽美術館	39	8	10	14	71
	54.9%	11.3%	14.1%	19.7%	100.0%

< 通訳案内士を活用したガイドツアーの実施フロー >



< 実証実験の実施フロー >



2 実施の詳細

2-1 共通事項

(1) 基本内容

- 実証実験の実施期間中、1日2回、英語・中国語・韓国語の3名のライセンスガイドによる常設展示ガイドツアー（約30分間）を無料で行う。
- ガイドツアー設定時間以外にも外国人が来館された場合は、可能な限り柔軟に対応を行う。
- 対象者は、英語・中国語・韓国語のいずれかを理解できる外国人来館者（個人及び団体の来館者）とする。
- チラシ、ホームページによる事前告知により訪れた外国人来館者のほか、ガイドツアー開催を知らずに来館された外国人にも声かけを行う。
- ツアー終了時に、ガイドツアー参加者にアンケート調査を実施する。

(2) 事前研修会の実施

実証実験の実施に先立ち、各施設で学芸員等による通訳案内士の事前研修会を実施した。事前研修会では、解説対象となる展示物の解説及び通訳案内士からの質疑応答のほか、実際に担当する通訳案内士によるガイドツアーのシミュレーションを実施し、実施施設及び展示物に応じたガイディングスキルの向上を図った（各実施施設で行われた事前研修会の内容については次項以降に記載）。

2-2 沖縄県立博物館

(1) 事前研修会

- 開催日時：平成23年1月26日（水）15：00～17：00
- 参加者：沖縄県立博物館学芸員・総務課担当 12名
 沖縄通訳案内士会 6名
 調査受託者 2名
- 内容：分野別担当学芸員による説明・質疑応答
 通訳案内士各自によるガイドツアーのシミュレーション

< 研修プログラム >

館の概要やガイドツアーの対象範囲等の基本的な説明を行うとともに、ツアーで説明する展示コーナー、展示物等について担当学芸員による解説・説明を行った。内容は以下の通り。

項目	展示室	分野
・ 博物館常設展示室の全体紹介	-	-
・ 「古我知原貝塚のくらし」住居集落模型	総合展示	考古
・ 「さまざまなグスク」座喜味城跡等模型	総合展示	考古
・ 「繁荣への布石 第一尚氏」、「王統の交代 第二尚氏」	総合展示	歴史
・ 「冊封と進貢」進貢船模型	総合展示	歴史
・ 「出土した陶磁器」高麗瓦、陶磁器類	考古部門展示	考古
・ 「江戸への琉球使節」行列図	総合展示	歴史
・ 漆器、染織資料	美術工芸部門展示	美術工芸
・ 「ペリー提督の琉球踏査」「護国寺の鐘」	総合展示	歴史
・ 「琉球から沖縄へ」沖縄対話、方言札	総合展示	歴史
・ 「沖縄戦 失われた文化財」大龍柱、到和扁額	総合展示	歴史
・ 「基地と復興」「アメリカ統治下のオキナワ」Aサイン証、写真	総合展示	歴史
・ 「新生沖縄県」砲弾、復帰記念メダル、米軍基地分布図	総合展示	歴史

(2) 実施告知

ガイドツアーの告知に関しては、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県商工観光部観光振興課、(財)沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)、那覇市観光案内所、沖縄通訳案内士会、沖縄県立博物館周辺のホテルに多大なご協力をいただいた。主な告知媒体は以下の通りである。

- ・ 沖縄県立博物館ホームページとリンク(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)
- ・ 「Visit Japan2011ウィンターキャンペーン」特設サイトとリンク(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)
- ・ 那覇空港到着ロビー・OCVB観光案内所でチラシ配布(国際線・国内線)
- ・ 那覇市観光案内所でチラシ配布
- ・ 周辺ホテルでチラシ配布
- ・ 沖縄通訳案内士会によるチラシ配布(旅行会社・飲食店・米軍基地・大学等)
- ・ Okinawa 2 Go!(iPhoneを活用した外国人多言語サポートシステム)による告知(ツイッター・多言語コールセンターによる案内等)
- ・ JAPANiCAN(訪日外国人個人旅行情報・手配サイト)によるツイッターを活用した告知

2-2 さいたま市大宮盆栽美術館

(1) 事前研修会

- 開催日時：平成23年2月7日(月) 11:00～12:00
- 参加者：さいたま市大宮盆栽美術館学芸員、盆栽技師 2名
通訳案内士 7名
調査受託者 1名
- 内容：学芸員及び盆栽技師による説明・質疑応答
通訳案内士各自によるガイドツアーのシミュレーション

< 研修プログラム >

館の概要やガイドツアーの対象範囲等の基本的な説明を行うとともに、学芸員および盆栽技師より、事前研修当日の常設展示について解説を受けた。盆栽を主たる展示物としている関係で、手入れ等の必要性から、常設展示については週替わりで展示内容を変更している。そのため、実際に館内ガイドツアーを行う場合に、事前研修時の展示物と異なる可能性が大きい。この点については、ガイドツアー実施日に常設展示品リストを受け取り、ガイドツアー開始前に各自シミュレーションを行った上で、必要に応じて学芸員、盆栽技師の方に質問し、疑問点を解消して実施するようにした。

展示物等		解説の概要
コレクションギャラリー	水石	種類は「遠山」、銘(ニックネーム)は肅山。
	もみじ	もみじ。出狸々という種類の木で、芽を出すと赤い葉が出てきて、育つと緑色に変色し、秋になるとまた紅葉する。
	水石	種類は「島型」。1点目の山形に比べ海岸線があるみたいに細長い。水石は自然界から拾われてきたものであるが、展示しやすくするため、底の部分は切って平らにしている。水石は盆栽の添(そえ、サブ)の役割をすることがある。水石を置くことで、盆栽の置かれた空間にリズムをつくり、より自然の景観を表しやすくしている。
	五葉松	五葉松。松には赤松、黒松、蝦夷松、五葉松があるが、盆栽では五葉松が一番ポピュラー。通常の松だと葉が2本だが、五葉松は5本生えており、葉も短い(縮小の美学)。
	水石	種類は「岩型」。くぼみのところに水をはったりして、夏は涼しさを演出した。
座敷飾り	行の間	床の間には真(しん)・行(ぎょう)・草(そう)と、3つの格式がある。それぞれの格に合わせた盆栽を展示するというコンセプト。真の格式をもちつつ、草の柔らかさを併せ持つ、一般的な大きさの床の間のため、最初に行の間が出てくる。事前研修時の展示は梅。床の間に併せてかけられていた掛け軸は「香潔(こうけつ)」である。
	草の間	行の間と比べて明らかに狭い。個人的なおもてなし(1対1)をするための間。小振りの草の盆栽などを展示する。
	真の間	お殿様の座のような部屋。展示する盆栽も、将軍などの風格にふさわしい、どんとしたものや権威のあるものを飾る。床の間には黒松の盆栽。右手の窓際に水石が置いてある。板を川に見立てて、水石を置くことで清流を表現。限られた空間で自然を表現している。

(2) 実施告知

ガイドツアーの告知に関しては、さいたま市、さいたま市国際交流協会、国際交流基金日本語国際センター、さいたま市内の主要ホテル・観光案内所、主な通訳案内士団体に多大なご協力をいただいた。主な告知媒体は以下の通りである。

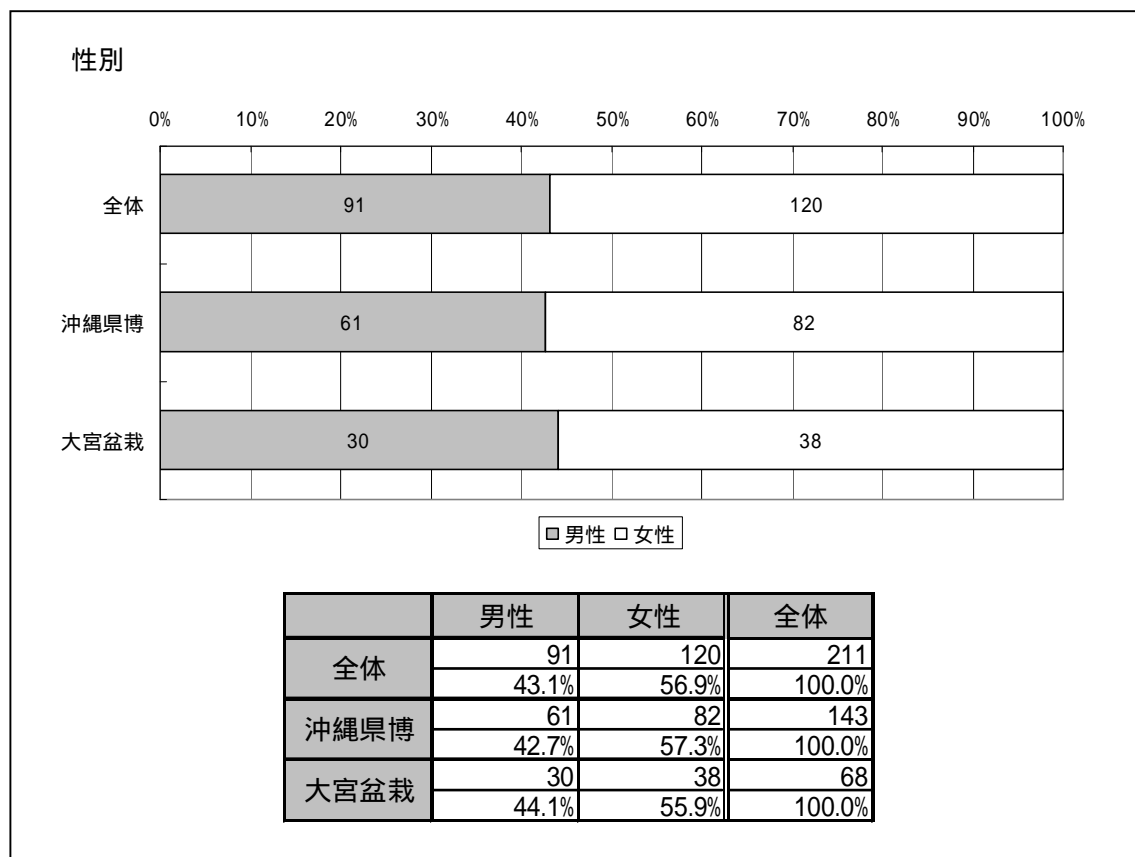
- さいたま市大宮盆栽美術館ホームページとリンク（英語・中国語・韓国語）
- JR大宮駅等の観光案内所にてチラシ配布（さいたま市と連携）
- 財団法人さいたま市国際交流協会を通じたチラシ配布（さいたま市と連携）
- 国際交流基金日本語国際センターを通じたチラシ配布（さいたま市と連携）
- さいたま市内の主要ホテルでチラシ配布（さいたま市と連携）
- 「Visit Japan2011ウィンターキャンペーン」特設サイトとリンク
- JNTO TIC、成田空港、羽田空港、東京駅等の観光案内所でのチラシ配布
- JAPANiCAN（訪日外国人個人旅行情報・手配サイト）によるツイッターを活用した告知

3 アンケート調査結果の集計・分析

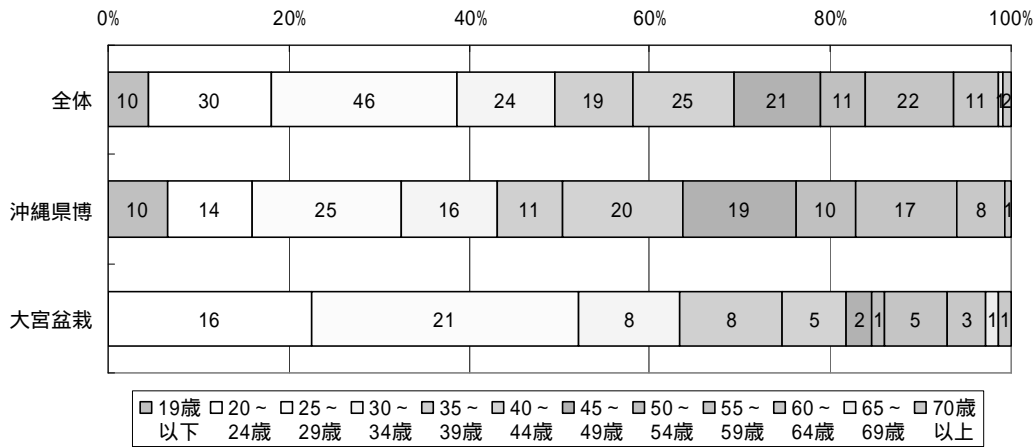
3-1 回答者の属性について

(1) 性別、年齢、居住地、回答言語

- 回答者の性別は、女性の比率がやや高いものの、男女ほぼ半数となっている。
- 回答者の年齢は、全体では25～29歳が、20～24歳が多いものの、各年代に幅広く分散しているが、さいたま市大宮盆栽美術館（以下「大宮盆栽」）では、20代の回答者が約5割を占めている。
- 居住地については、13カ国・地域の方から回答を得られたが、全体では韓国が28.2%と最も多く、次いで米国が17.1%、中国が15.3%、香港が13.0%となっている。
- 沖縄県立博物館（以下「沖縄県博」）では、韓国が32.7%と最も多く、大宮盆栽では、中国が27.3%と最も多くなっている。
- 居住地で、その他と回答した中には、イスラエル、イラン、オーストリア、ポーランド、ミャンマー、イタリア、スウェーデン、スペイン、スリランカ、フィリピン、メキシコがあった。

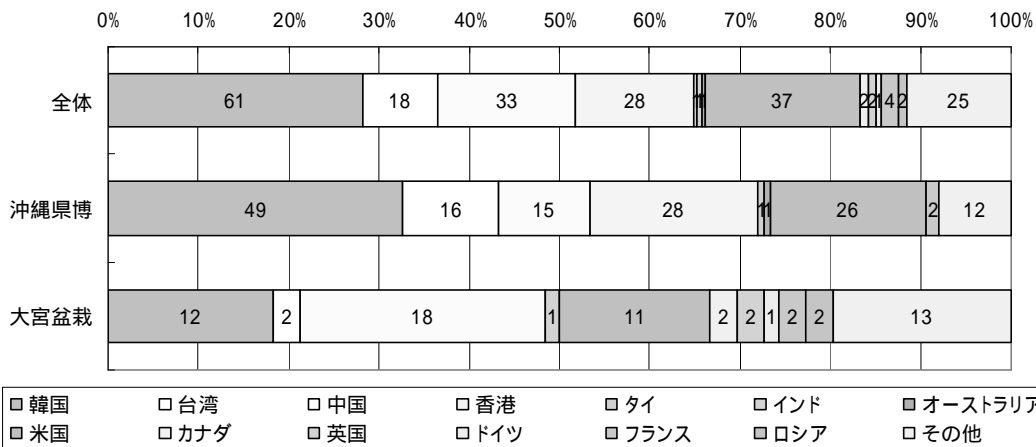


年齢



	19歳以下	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	全体
全体	10	30	46	24	19	25	21	11	22	11	1	2	222
	4.5%	13.5%	20.7%	10.8%	8.6%	11.3%	9.5%	5.0%	9.9%	5.0%	0.5%	0.9%	100.0%
沖縄県博	10	14	25	16	11	20	19	10	17	8	0	1	151
	6.6%	9.3%	16.6%	10.6%	7.3%	13.2%	12.6%	6.6%	11.3%	5.3%	0.0%	0.7%	100.0%
大宮盆栽	0	16	21	8	8	5	2	1	5	3	1	1	71
	0.0%	22.5%	29.6%	11.3%	11.3%	7.0%	2.8%	1.4%	7.0%	4.2%	1.4%	1.4%	100.0%

居住地

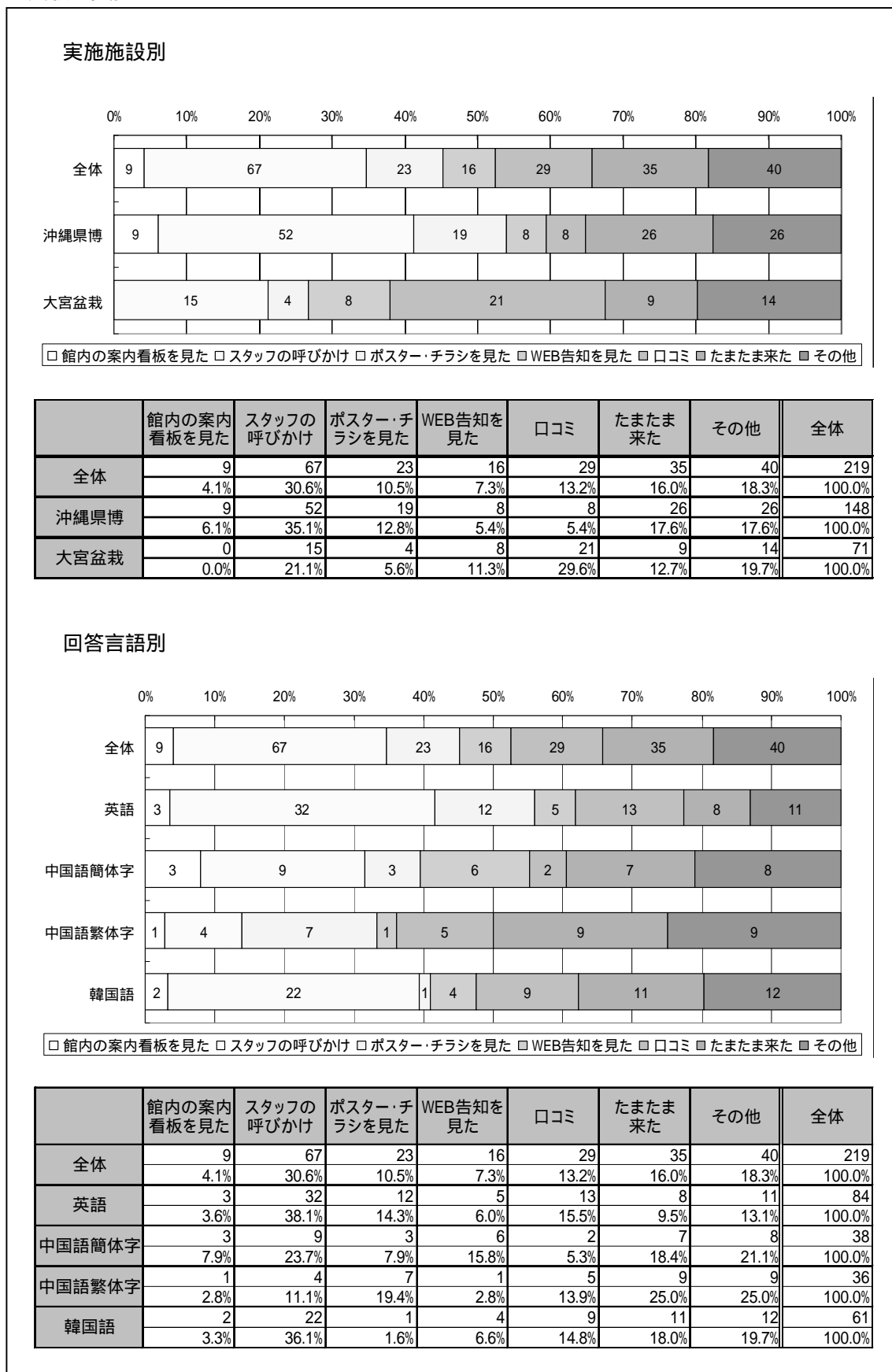


	韓国	台湾	中国	香港	タイ	インド	オーストラリア	米国	カナダ	英国	ドイツ	フランス	ロシア	その他	全体
全体	61	18	33	28	1	1	1	37	2	2	1	4	2	25	216
	28.2%	8.3%	15.3%	13.0%	0.5%	0.5%	0.5%	17.1%	0.9%	0.9%	0.5%	1.9%	0.9%	11.6%	100.0%
沖縄県博	49	16	15	28	1	0	1	26	0	0	0	2	0	12	150
	32.7%	10.7%	10.0%	18.7%	0.7%	0.0%	0.7%	17.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	8.0%	100.0%
大宮盆栽	12	2	18	0	0	1	0	11	2	2	1	2	2	13	66
	18.2%	3.0%	27.3%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	16.7%	3.0%	3.0%	1.5%	3.0%	3.0%	19.7%	100.0%

3-2 実験に参加したきっかけについて

- 実験に参加したきっかけについては、全体では「スタッフの呼びかけ」が30.6%と最も多く、次いで「たまたま来た」(16.0%)、「口コミ」(13.2%)となっている。
- 沖縄県博では、「ポスター・チラシを見た」(12.8%)、「WEB告知を見た」(5.4%)、「口コミ」(5.4%)を合計した23.6%、すなわち参加者の5人に1人程度には事前告知が届いていた結果となっている。
- 一方、大宮盆栽では、「口コミ」(29.6%)、「WEB告知を見た」(11.3%)、「ポスター・チラシを見た」(5.6%)を合計した46.5%、すなわち参加者の2人に1人程度には事前告知が届いていた結果となっている。
- 大宮盆栽は、ガイドツアーの実施時期が沖縄県博より10日遅く、その分、告知期間を長くとれたことが、この差になっているものと思われる。

実験に参加したきっかけ

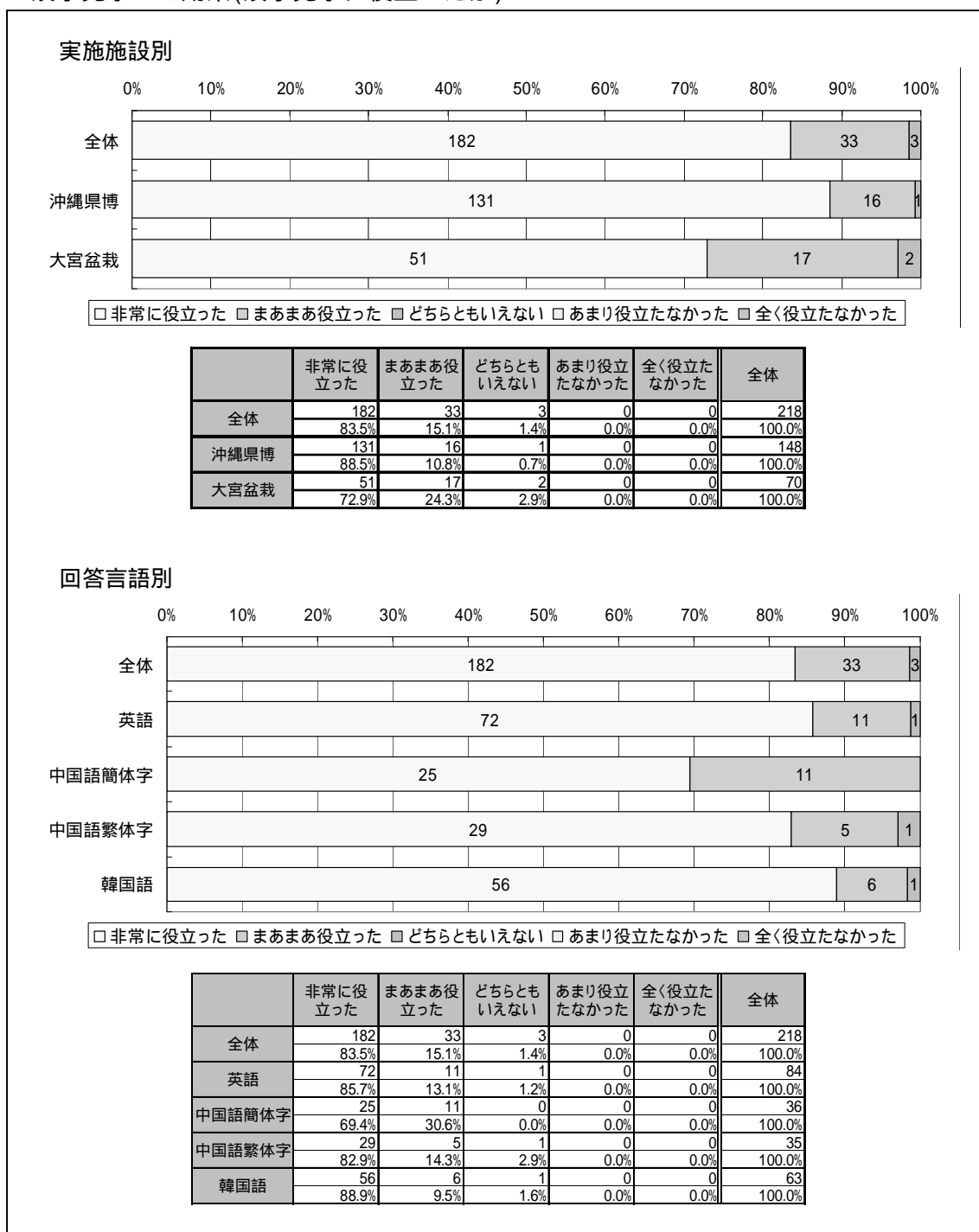


3-3 ガイドツアーの効果・印象について

(1) 展示見学への効果

- 今回のガイドツアーが展示見学に役立ったかという質問について、回答全体では、100%近くの方が「非常に役立った」、「まあまあ役立った」と回答しており、外国人来館者の展示への理解度等をも高める上でガイドツアーが非常に効果的であることが明らかとなった。

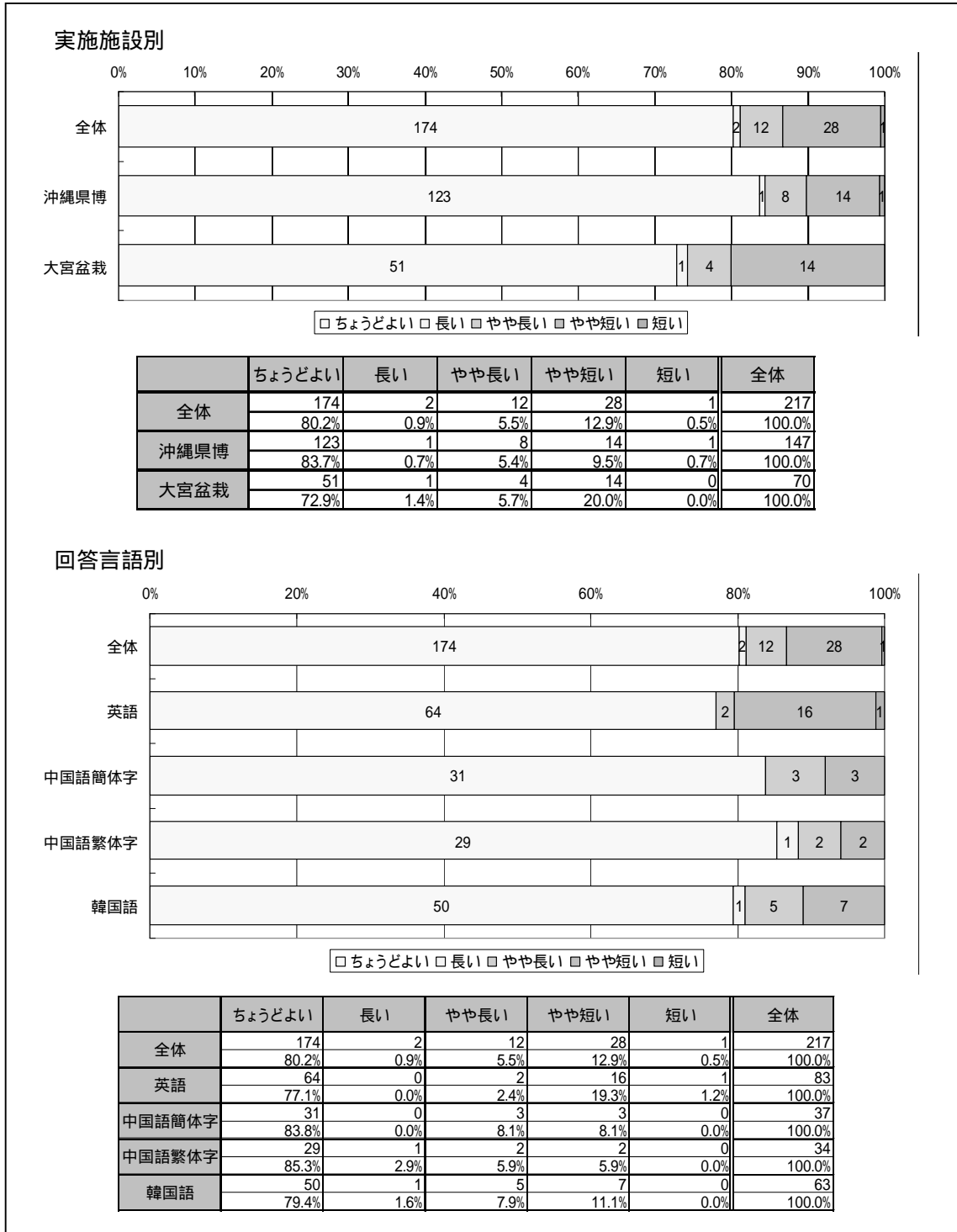
展示見学への効果(展示見学に役立ったか)



(2) 実施時間に対する印象

- ガイドツアーの所要時間については、沖縄県博、大宮盆栽ともに30分間程度を目安に実施したが、その長さについて、回答者の約8割が「ちょうどよい」と回答している。
- 大宮盆栽では、沖縄県博に比べ、「やや短い」と回答した人の割合が19.7%と高くなっているが、その理由として、展示内容(盆栽)を理解するのが難しい面があること等が考えられる。

実施時間に対する印象



3-3 通訳案内士に対する評価について

(1) 言語レベルに対する印象

- ガイドツアーを実施した通訳案内士（英語・中国語・韓国語それぞれのライセンスガイド）の言語レベルについては、回答全体では、「とても高い」が57.3%、「高い」が35.8%となっており、9割以上が通訳案内士の言語レベルは高いと評価している。
- 回答言語別に見ると、中国語簡体字及び韓国語においては、他の言語に比べて「とても高い」と回答する割合が低くなっているものの、それぞれ8～9割の方が通訳案内士の言語レベルは高いと評価している。

通訳案内士の言語レベルに対する印象



(2) 質疑対応に対する印象

- 来館者の質疑に対する通訳案内士の対応に関する印象については、回答全体では、「とても的確である」が57.9%、「まずまず的確である」が31.0%となっており、9割近くが通訳案内士の対応が的確であると評価している。
- 回答言語別に見ると、中国語簡体字及び韓国語においては、他の言語に比べて「とても的確である」と回答する割合が低くなっているものの、それぞれ8～9割の方が通訳案内士の対応は的確であると評価している。

質疑応答に対する印象



3-4 ガイドツアーに対する満足度について

(1) ガイドツアーに対する満足度

- 回答全体では、「とても満足している」が79.9%、「多少満足している」が17.4%となっており、100%近くが今回のガイドツアーについて満足していると回答している。
- 実施施設別、回答言語別に多少の差異はあるものの、大多数の方から今回のツアーに満足しているとの評価を得られた。

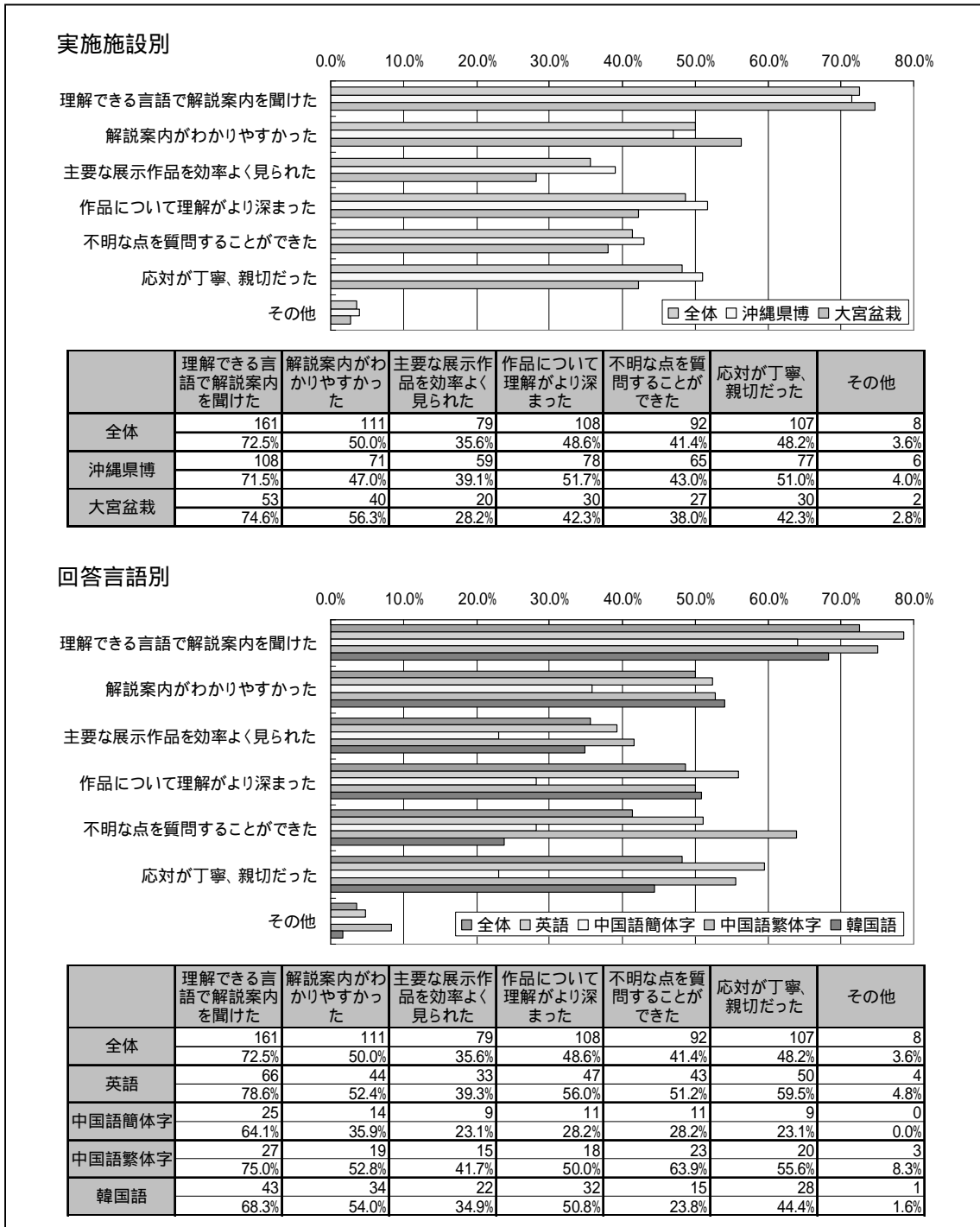
ガイドツアーに対する満足度



(2) 満足した点

- ガイドツアーで満足した点については、回答全体では、「理解できる言語で解説案内を聞いた」が72.5%と最も多く、次いで「解説案内がわかりやすかった」(50.0%)、「作品について理解がより深まった」(48.6%)、「対応が丁寧、親切だった」(48.2%)となっている。
- 実施施設別、回答言語別に見ても、ほぼ同様の傾向となっているが、中国語繁体字については、「不明な点を質問することができた」を選択する割合が他の言語よりも高くなっている。

満足した点(複数回答)

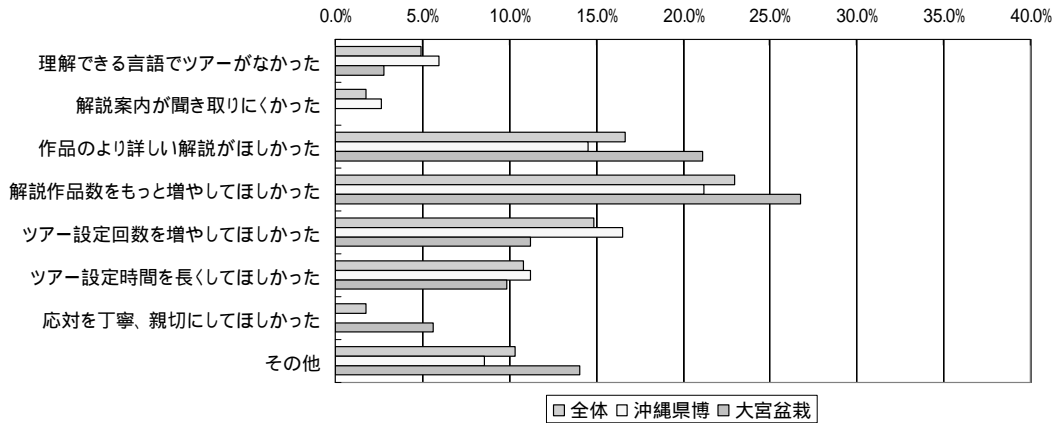


(3) 改善点

- ガイドツアーの改善点を尋ねたところ、回答全体では、「解説作品数をもっと増やしてほしかった」が23.0%と最も多く、次いで「作品のより詳しい解説がほしかった」(16.7%)、「ツアー設定回数を増やしてほしかった」(14.9%)となっており、実施施設別に見ても、ほぼ同様の傾向となっている。
- 今回は実証実験であり、来館者によってさまざまなニーズがあることを想定して30分程度のツアーとしたが、実施にあたっては、所要時間や解説レベル等について、よりきめ細かな対応が必要なことがうかがえる。

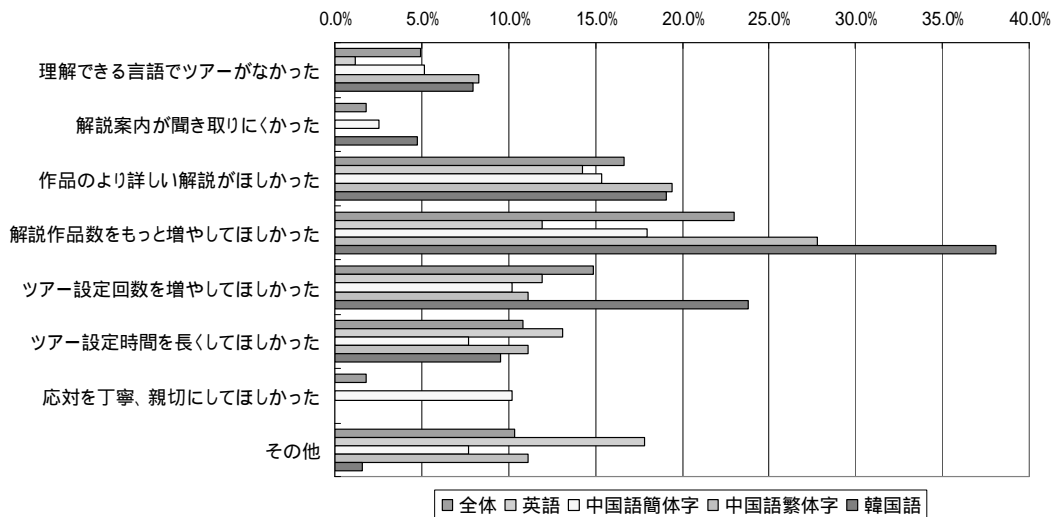
改善点(複数回答)

実施施設別



	理解できる言語でツアーがなかった	解説案内が聞き取りにくかった	作品のより詳しい解説がほしかった	解説作品数をもっと増やしてほしかった	ツアー設定回数を増やしてほしかった	ツアー設定時間を長くしてほしかった	対応を丁寧、親切にしてほしかった	その他
全体	11 5.0%	4 1.8%	37 16.7%	51 23.0%	33 14.9%	24 10.8%	4 1.8%	23 10.4%
沖縄県博	9 6.0%	4 2.6%	22 14.6%	32 21.2%	25 16.6%	17 11.3%	0 0.0%	13 8.6%
大宮盆栽	2 2.8%	0 0.0%	15 21.1%	19 26.8%	8 11.3%	7 9.9%	4 5.6%	10 14.1%

回答言語別



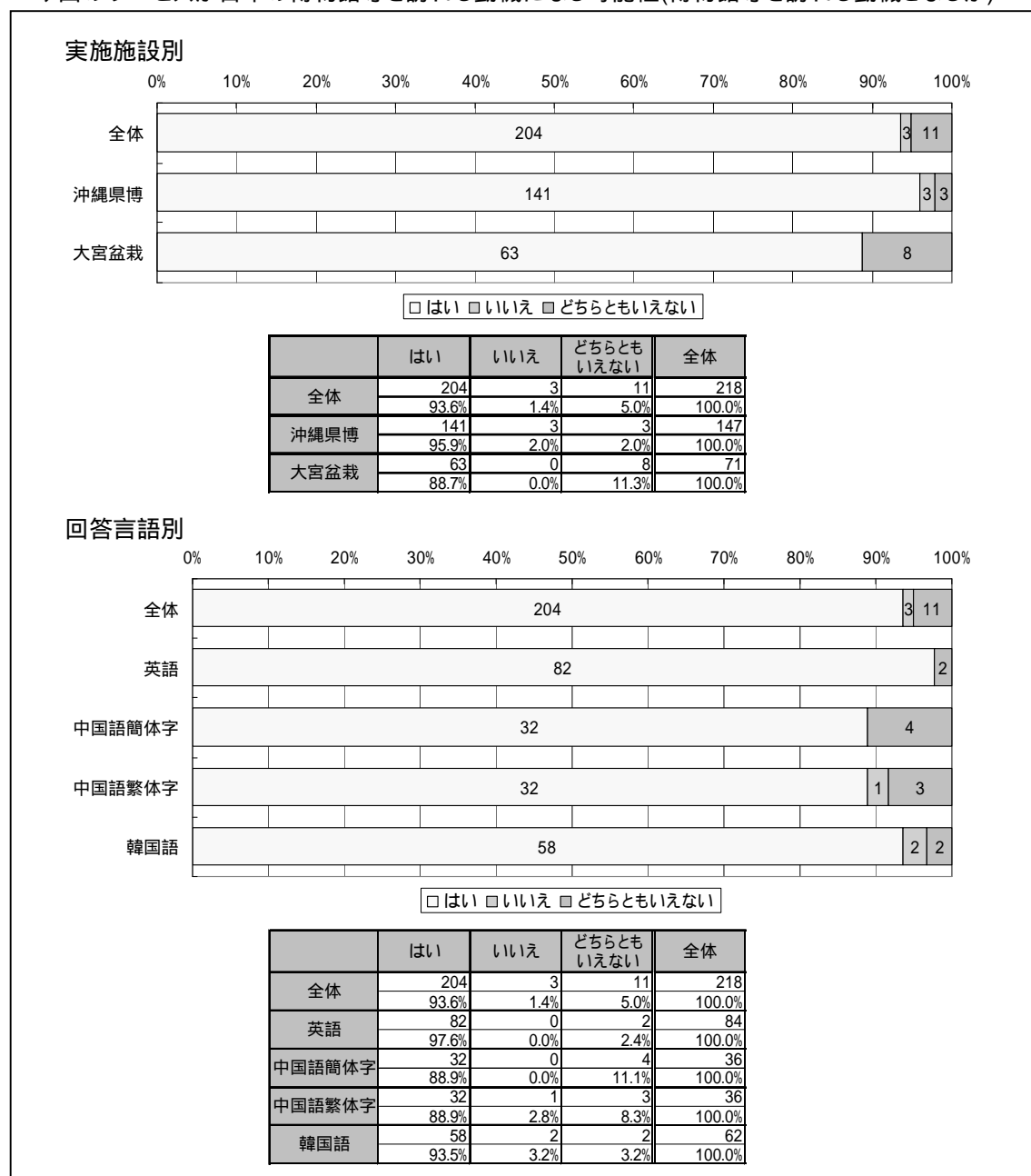
	理解できる言語でツアーがなかった	解説案内が聞き取りにくかった	作品のより詳しい解説がほしかった	解説作品数をもっと増やしてほしかった	ツアー設定回数を増やしてほしかった	ツアー設定時間を長くしてほしかった	対応を丁寧、親切にしてほしかった	その他
全体	11 5.0%	4 1.8%	37 16.7%	51 23.0%	33 14.9%	24 10.8%	4 1.8%	23 10.4%
英語	1 1.2%	0 0.0%	12 14.3%	10 11.9%	10 11.9%	11 13.1%	0 0.0%	15 17.9%
中国語簡体字	2 5.1%	1 2.6%	6 15.4%	7 17.9%	4 10.3%	3 7.7%	4 10.3%	3 7.7%
中国語繁体字	3 8.3%	0 0.0%	7 19.4%	10 27.8%	4 11.1%	4 11.1%	0 0.0%	4 11.1%
韓国語	5 7.9%	3 4.8%	12 19.0%	24 38.1%	15 23.8%	6 9.5%	0 0.0%	1 1.6%

3-5 今後の利用意向等について

(1) 日本の博物館等の訪問動機になる可能性

- 今回参加したガイドツアーが、日本国内の他の博物館等で実施されていれば、その館に行くと思うきっかけになるかを尋ねたところ、全体の9割以上が「はい(きっかけになる)」と回答しており、実施施設別、回答言語別に見ても、ほぼ同様の傾向となっている。
- ICT活用による解説案内システムに関する同様の設問では、全体の7割が他館へ行く「きっかけになる」と回答しており、外国語によるガイドツアーの実施は、ICT活用以上に外国人にとって魅力的な取り組み・サービスであることがうかがえる。

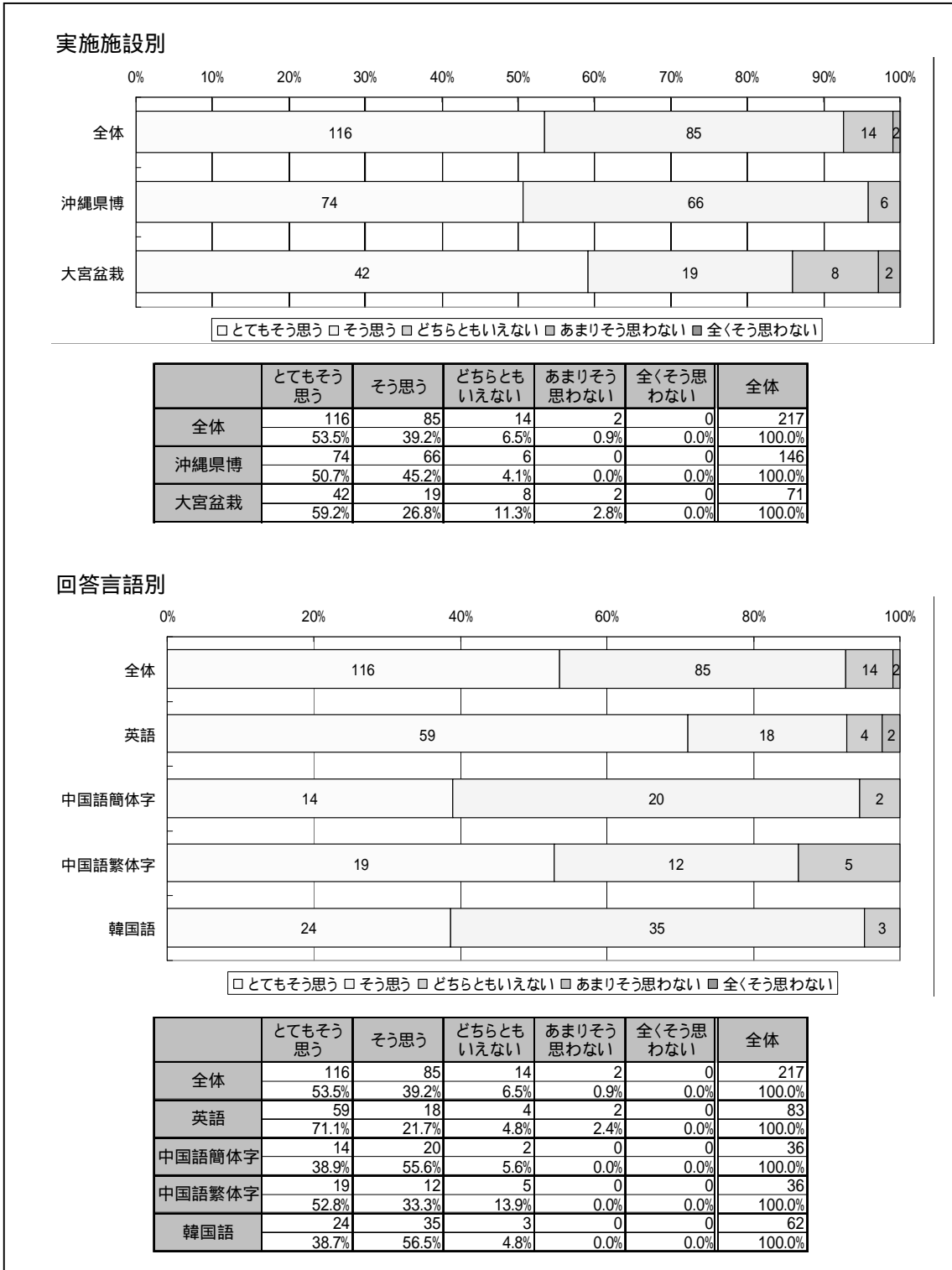
今回のサービスが日本の博物館等を訪れる動機になる可能性(博物館等を訪れる動機となるか)



(2) 同施設での今後の参加意向

- 今回と同じ施設で同様のガイドツアーが開催される場合、また参加するかを尋ねたところ、全体では、「とてもそう思う」が53.5%、「そう思う」が39.2%となっており、9割以上が再度参加したいと回答している。

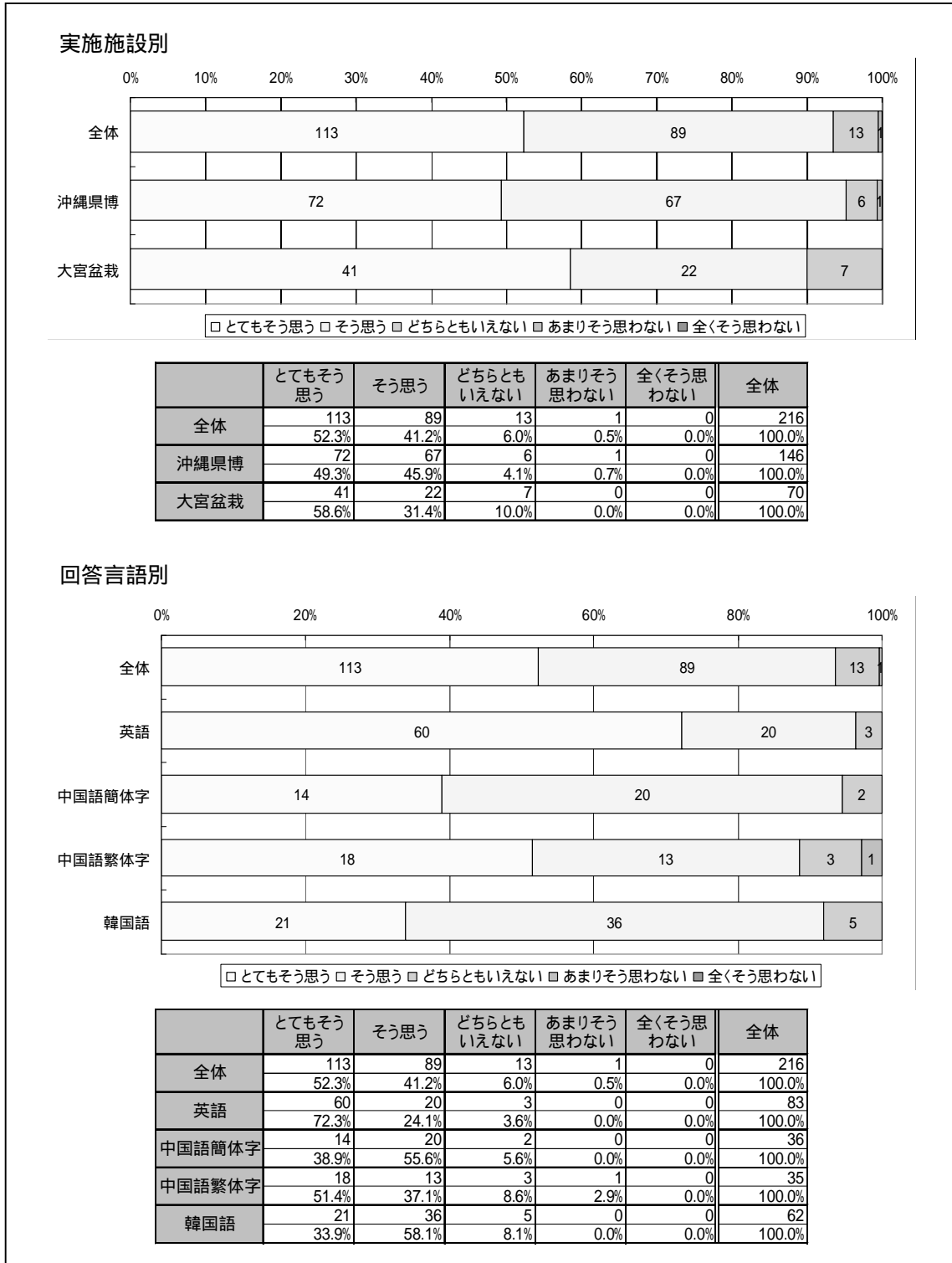
同施設での今後の利用意向



(3) 他の日本の博物館等での今後の利用意向

- 今回参加したガイドツアーが日本の他の博物館等で開催されていれば参加するかを尋ねたところ、全体では、「とてもそう思う」が52.3%、「そう思う」が41.2%となっており、9割以上が他施設でも参加したいと回答している。

今後の利用意向(今回のサービスが他の博物館にあれば、今後も使いたいか)



3-6 課金について

(1) 課金の可否（有料の場合の参加意向）

- 今回のガイドツアーは参加料無料で実施したが、有料で開催された場合に参加するかを尋ねたところ、全体では、「とてもそう思う」が20.7%、「そう思う」が41.0%となっており、6割以上が有料でも参加すると回答している。
- ICT活用による解説案内システムは、有料でも利用すると回答したのは3割強にとどまっており、ガイドツアーについては、有料での実施可能性が比較的高いことがうかがえる。

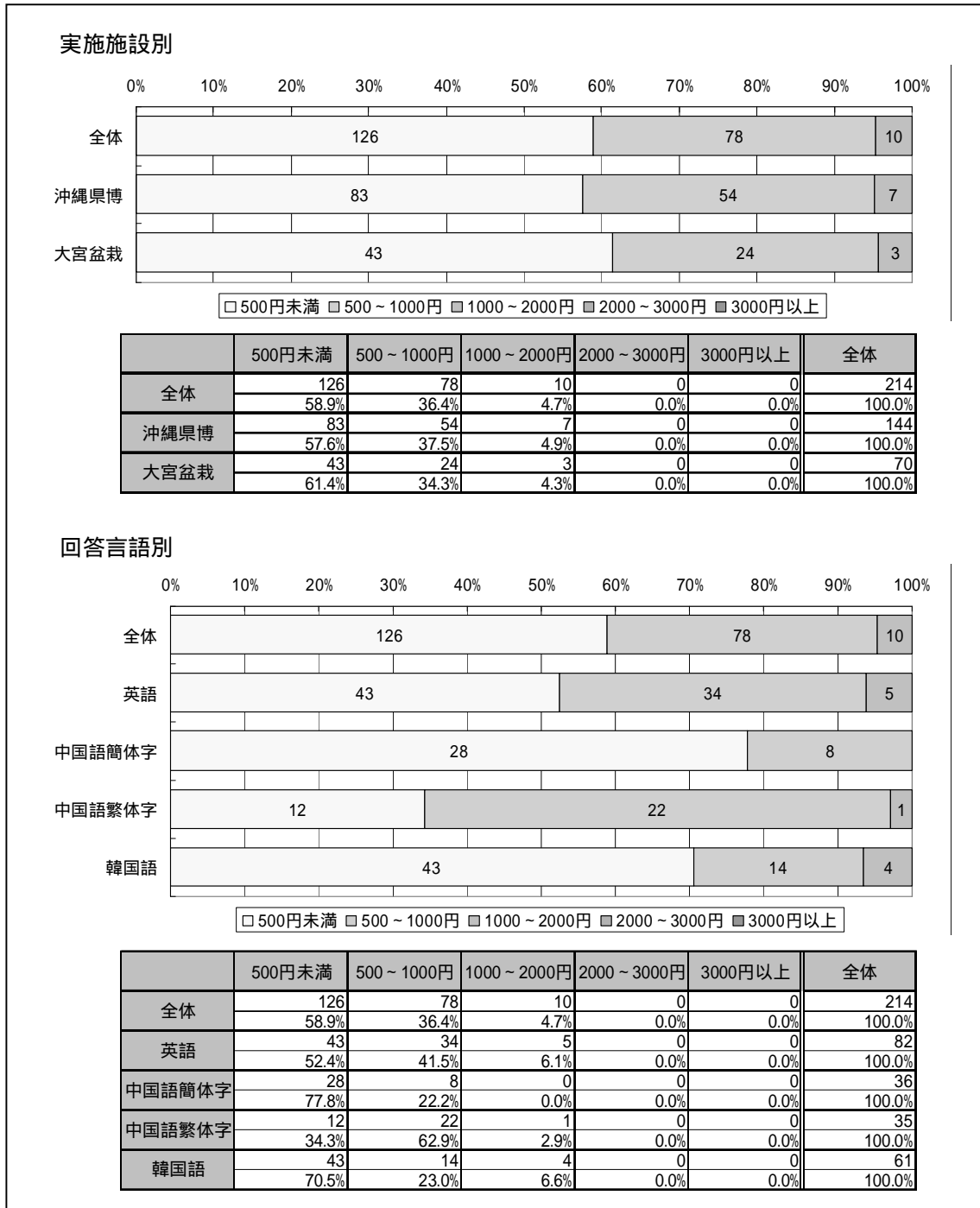
課金の可否（有料であっても使用したいか）



(2) 妥当な料金設定

- ガイドツアーが有料であれば、いくらが妥当と感じるかを尋ねたところ、全体では、「500円未満」が58.9%と最も多く、次いで「500～1,000円未満」が36.4%となっており、1,000円未満とする回答が9割以上を占めている。
- 回答全体において、それぞれの価格帯の中間値を、その価格帯の代表値とし、加重平均を算出すると475円となっている。

妥当な料金設定

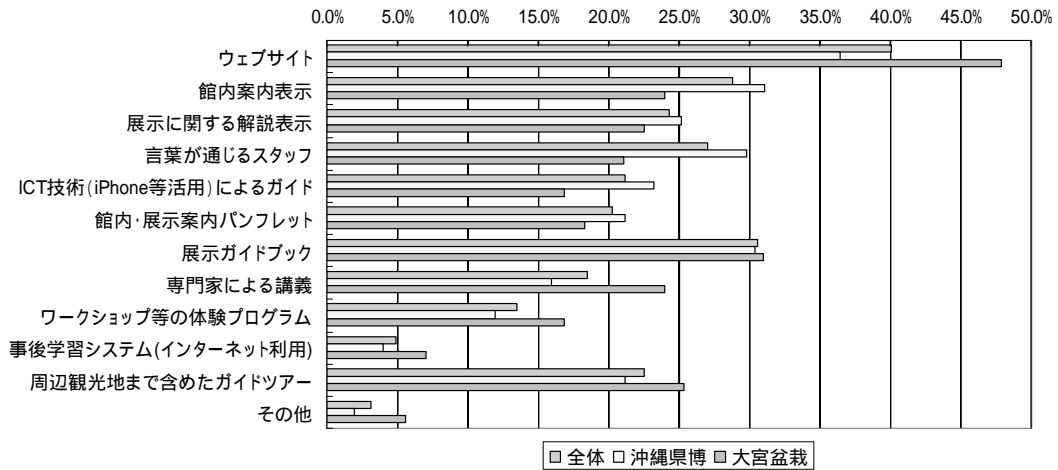


3-7 本国語で受けてみたいサービスについて

- 今回参加したガイドツアーの他に、自らが理解できる言語で受けてみたいサービスがあるかを尋ねたところ、全体では、「ウェブサイト」が40.1%と最も多く、次いで「展示ガイドブック」(30.6%)、「館内案内表示」(28.8%)、「言葉が通じるスタッフ」(27.0%)、「展示に関する解説表示」(24.3%)となっている。また、「周辺観光地まで含めたガイドツアー」を選択する割合は22.5%となっている。
- 実施施設別に見ると、選択率が高い項目はほぼ同様の傾向となっているが、大宮盆栽では、「専門家による講義」を選択する割合が23.9%と比較的高くなっている。これは、ガイドツアー参加者の中に、居住地で自ら盆栽栽培に取り組んでいる方がいるなど、盆栽愛好者が含まれているためと思われる。
- 回答言語別に見ても、選択率が高い項目はほぼ同様の傾向となっているが、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語については、英語に比べて、「言葉が通じるスタッフ」を選択する率が高くなっている。

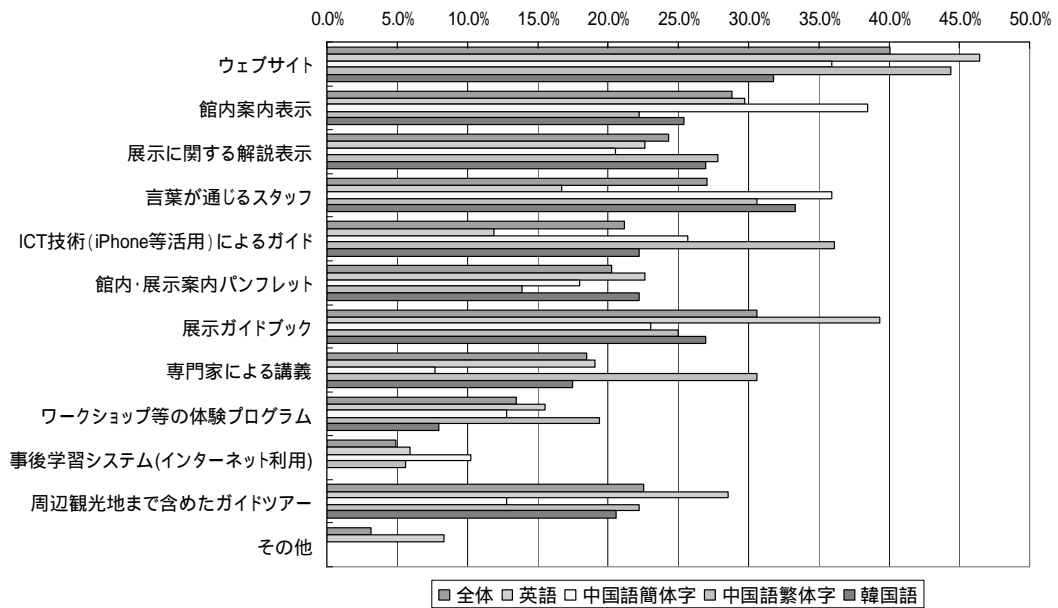
自国語で受けたいサービス(複数回答)

実施施設別



	ウェブサイト	館内案内表示	展示に関する解説表示	言葉が通じるスタッフ	ICT技術(iPhone等活用)によるガイド	館内・展示案内パンフレット	展示ガイドブック	専門家による講義	ワークショップ等の体験プログラム	事後学習システム(インターネット利用)	周辺観光地まで含めたガイドツアー	その他
全体	89 40.1%	64 28.8%	54 24.3%	60 27.0%	47 21.2%	45 20.3%	68 30.6%	41 18.5%	30 13.5%	11 5.0%	50 22.5%	7 3.2%
沖縄県博	55 36.4%	47 31.1%	38 25.2%	45 29.8%	35 23.2%	32 21.2%	46 30.5%	24 15.9%	18 11.9%	6 4.0%	32 21.2%	3 2.0%
大宮益裁	34 47.9%	17 23.9%	16 22.5%	15 21.1%	12 16.9%	13 18.3%	22 31.0%	17 23.9%	12 16.9%	5 7.0%	18 25.4%	4 5.6%

回答言語別



	ウェブサイト	館内案内表示	展示に関する解説表示	言葉が通じるスタッフ	ICT技術(iPhone等活用)によるガイド	館内・展示案内パンフレット	展示ガイドブック	専門家による講義	ワークショップ等の体験プログラム	事後学習システム(インターネット利用)	周辺観光地まで含めたガイドツアー	その他
全体	89 40.1%	64 28.8%	54 24.3%	60 27.0%	47 21.2%	45 20.3%	68 30.6%	41 18.5%	30 13.5%	11 5.0%	50 22.5%	7 3.2%
英語	39 46.4%	25 29.8%	19 22.6%	14 16.7%	10 11.9%	19 22.6%	33 39.3%	16 19.0%	13 15.5%	5 6.0%	24 28.6%	7 8.3%
中国語簡体字	14 35.9%	15 38.5%	8 20.5%	14 35.9%	10 25.6%	7 17.9%	9 23.1%	3 7.7%	5 12.8%	4 10.3%	5 12.8%	0 0.0%
中国語繁体字	16 44.4%	8 22.2%	10 27.8%	11 30.6%	13 36.1%	5 13.9%	9 25.0%	11 30.6%	7 19.4%	2 5.6%	8 22.2%	0 0.0%
韓国語	20 31.7%	16 25.4%	17 27.0%	21 33.3%	14 22.2%	14 22.2%	17 27.0%	11 17.5%	5 7.9%	0 0.0%	13 20.6%	0 0.0%

3-8 興味深かった展示について（自由記述）

- 多様な記述があるため、以下の通り列記する。

沖縄県博

性別	年齢	居住地	記述内容
女性	40-44 歳	中国	王統図
女性	25-29 歳	米国	通訳案内士が質問すべてに回答してくれたこと。
男性	60-64 歳	米国	ひとつだけ挙げることはできないが、初めて沖縄を訪れたので、沖縄の歴史について学ぶことができた。
男性	45-49 歳	台湾	沖縄の歴史
男性	60-64 歳	香港	琉球の中国及び日本との関係
女性	45-49 歳	韓国	いろいろな国との交易についての説明
女性	25-29 歳	韓国	詳しい歴史の説明
女性	45-49 歳	香港	現地の歴史
男性	19 歳以下	香港	在沖縄米軍
男性	25-29 歳	米国	琉球の城、中国と日本(薩摩)の関係
男性	30-34 歳	韓国	服、特産物、仏教関連の作品
女性	25-29 歳	韓国	沖縄がその当時の日本とは多くの違いがあるという部分。特に日本の薩摩と中国の両方の支配を受けていたという説明はとても興味深く聞いた。
女性	30-34 歳	台湾	三線
男性	30-34 歳	台湾	1940 年代、第 2 次世界大戦
男性	35-39 歳	香港	琉球の文化と歴史
男性	30-34 歳	香港	琉球王国の歴史と文化
女性	25-29 歳	香港	沖縄の戦後
女性	25-29 歳	香港	琉球の背景、歴史
	55-59 歳	香港	琉球王国が日本へ朝貢するための旅についてのセクションと服装と習慣についてのセクション
女性	55-59 歳	オーストラリア	服装の着方のパターンが楽しかった。海賊の大砲により穴のあいた船。沖縄での生活における、中国、日本、アメリカの歴史的な役割。
	60-64 歳	米国	沖縄の中国や日本との関係の歴史
男性	45-49 歳	香港	琉球の人々の生活状況
女性	40-44 歳	香港	歴史および文化の部分
女性	40-44 歳	台湾	沖縄の歴史や文化
-	50-54 歳	米国	展示全てがおもしろかった。それらについてもっとたくさんのことを学びたい。
女性	20-24 歳	フランス	第二次世界大戦の関係
女性	45-49 歳	米国	古い時代の男女の服装
女性	20-24 歳	中国	歴史、文化、服装
男性	20-24 歳	中国	民族文化、芸術方面のことが聞いて分かった
男性	19 歳以下	香港	戦後の資料
男性	55-59 歳	香港	沖縄県の歴史、特に日本との関係
女性	19 歳以下	香港	琉球王国
男性	40-44 歳	米国	16 世紀の貿易、航海、織物など
女性	40-44 歳	米国	江戸時代以前の琉球の歴史、船舶や歴史的な図、立体模型などの中継貿易の様子が分かる展示
男性	25-29 歳		琉球王国についてももっとも興味深かった。その歴史を知って、さらにもっと知りたくなった。
女性	45-49 歳		第二次世界大戦後の話が興味深かった。
女性	45-49 歳	中国	歴史
女性	50-54 歳	中国	琉球王国、交易時代
女性	30-34 歳	韓国	琉球王国が日本にも中国にも両方に統治されていたという歴史
男性	30-34 歳	ホーランド	中国皇帝への進貢船に対する説明
女性	35-39 歳	韓国	琉球王国の歴史を詳しく説明を受けた。特に韓国との関係や万国津梁館が興味深かった。サンゴ・化石についての説明も面白かった。
女性	20-24 歳	韓国	琉球王国とアメリカの支配下の沖縄
女性	25-29 歳	台湾	文化と歴史
男性	25-29 歳	台湾	城(ぐすく)と米国管理下の沖縄
女性	25-29 歳	韓国	沖縄文化の説明、歴史の説明(周辺国との関連が面白かった)。
女性	55-59 歳	韓国	尚寧王

性別	年齢	居住地	記述内容
女性	55-59歳	韓国	王宮、文化遺跡
女性	30-34歳	韓国	琉球王国の歴史と近代化
女性	50-54歳	韓国	宗教展示、民族コーナー
女性	40-44歳	韓国	朝鮮の出品
女性	55-59歳	韓国	染物の技術と尚家の歴史
女性	60-64歳	韓国	高麗瓦
女性	55-59歳	韓国	朝鮮とのつながりを説明したこと
男性	40-44歳	韓国	琉球の歴史、日本との関係
女性	60-64歳	韓国	近代琉球の流れ
女性	40-44歳	台湾	歴史
女性	30-34歳	香港	沖縄の人たちが薩摩に朝貢したこと、戦後沖縄が日本に復帰した時の事情
男性	35-39歳	香港	琉球王国の歴史
女性	19歳以下	中国	明治維新
男性	19歳以下	中国	歴史
女性	40-44歳	中国	日清戦争、進貢船
男性	35-39歳	中国	歴史
女性	40-44歳	中国	中国と琉球王国の歴史
	30-34歳	イラン	歴史的事項
男性	45-49歳	米国	第二次世界大戦で破壊された首里城の鐘と銘板、うるま市の貝塚、韓国からの屋根瓦
女性	40-44歳	韓国	琉球王国の歴史
女性	40-44歳	韓国	陶器の出土品
女性	40-44歳	韓国	沖縄と韓国の似ている点
女性	25-29歳	韓国	韓国と沖縄が沢山つながりがあることにびっくりした。
女性	30-34歳	ミャンマー	歴史ギャラリー
女性	35-39歳	台湾	解説がよかった。沖縄の歴史の流れが理解できた。
女性	25-29歳	台湾	琉球服装、貿易品、歴史
男性	35-39歳	米国	琉球の展示。沖縄の歴史、特に日本本土と分離していた事実について学ぶことができてよかった。
女性	25-29歳	米国	昔の沖縄
	25-29歳	米国	沖縄が王朝から王国に、さらに独自の県として発展していく過程
	30-34歳	米国	鐘
女性	25-29歳	米国	琉球の展示物はとても有益である。
女性	35-39歳	台湾	琉球王国の歴史、織物、染物、焼物、庶民の生活
男性	45-49歳	米国	歴史については私にとってとても重要でした。
男性	25-29歳	米国	日本が侵略される前の、初期の琉球王国の日常
男性	55-59歳	米国	日本に返還される際の島の始まり
	40-44歳	米国	グスク(城)
女性	45-49歳	米国	母国語で歴史の説明をしてくれてよかった。
女性	30-34歳	イスラエル	書の展示
男性	25-29歳	イスラエル	進貢船と様々なシンボルや特徴。沖縄アートと書道
男性	20-24歳	オーストリア	歴史と陶芸
女性	25-29歳	中国	琉球王朝の歴史、近代沖縄
男性	20-24歳	中国	沖縄と中国の文化的類似性

大宮盆栽

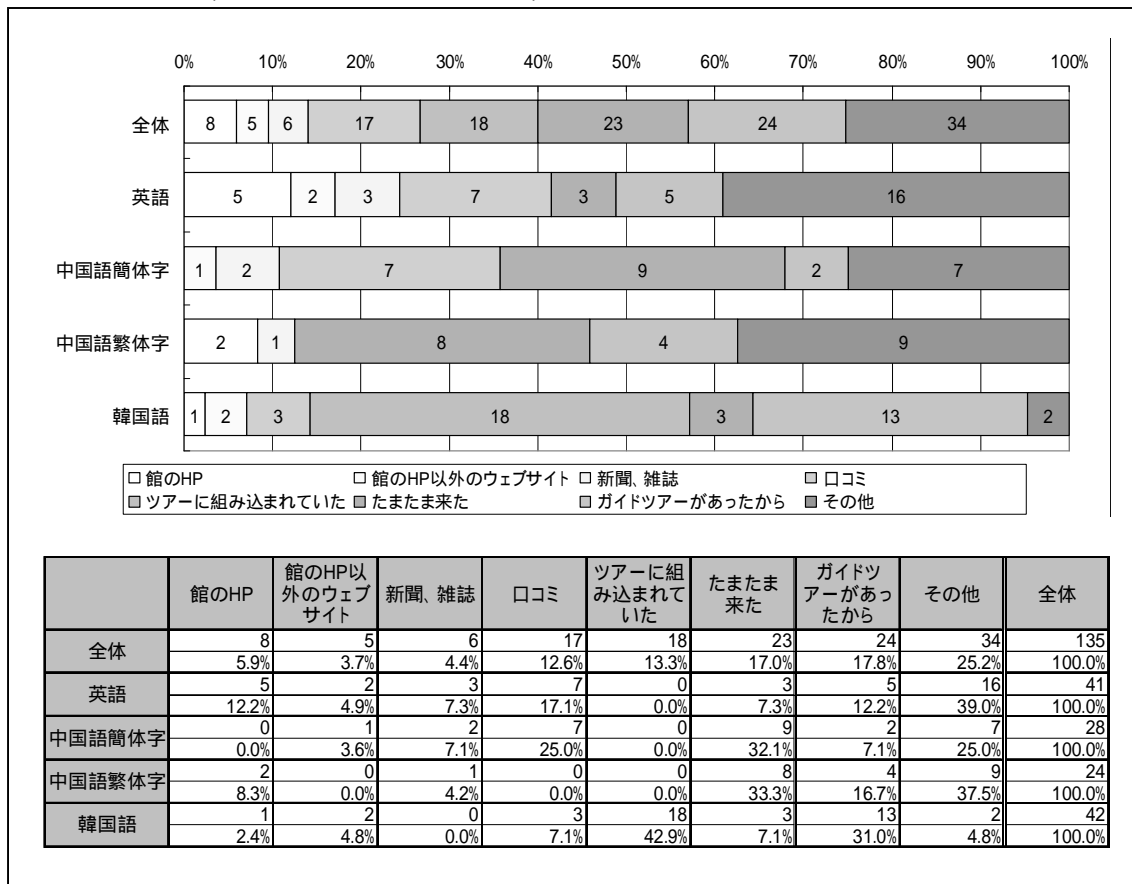
性別	年齢	居住地	記述内容
男性	60-64 歳	カナダ	水石
男性	35-39 歳	米国	床の間
男性	25-29 歳	米国	すべてが良かった。
-	70 歳以上	米国	床の間
男性	40-44 歳	米国	水石の話
女性	25-29 歳	フィリピン	水石、盆栽の見方、盆栽の歴史、盆栽が展示される場所
女性	40-44 歳	フィリピン	床の間
女性	40-44 歳	インド	梅に関すること。
女性	40-44 歳	フィリピン	初めて水石のことを知った。
女性	40-44 歳	-	盆栽について、全く知らなかったので勉強になった。
女性	40-44 歳	米国	真・草・行の間とそれに合わせた盆栽の飾り方
男性	40-44 歳	米国	3 種類の床の間とそこに飾られた盆栽、水石
男性	40-44 歳	英国	3 種類の床の間、東京から大宮に移転してきた歴史
男性	40-44 歳	英国	水石の姿態、床の間と盆栽飾り
女性	40-44 歳	メキシコ	ガイド中に日本人と盆栽、盆栽飾り、水石との関係について質問したこと。
女性	40-44 歳	スウェーデン	すべてが面白かった。
女性	40-44 歳	イタリア	ガイドさんの説明がなければ意味を理解するのは難しいと思う。ガイドツアーで展示品の説明を聞くのは好きです。床の間の種類に応じた盆栽飾りも興味深かった。
男性	40-44 歳	カナダ	部屋(床の間)
男性	40-44 歳	中国	日本と中国の盆栽が似ているところ。
女性	40-44 歳	中国	梅の盆栽の香りが良かったこと、盆栽の年数と値段との関係。
男性	40-44 歳	韓国	姿石、五葉松など。
男性	40-44 歳	韓国	各々の作品についている品種名が面白かった。
女性	40-44 歳	韓国	盆栽と水石
女性	40-44 歳	中国	梅の思いのままについて詳細で面白かった。
女性	40-44 歳	韓国	遠山と梅の思いのまま。
男性	40-44 歳	中国	梅(思いのまま)、桜(月影) (注)盆栽の作品名
女性	40-44 歳	韓国	盆栽は初めてだったので今回詳しく盆栽について知ることができて良かった。盆栽を育てるのに多くの時間と努力が必要だということがわかった。
女性	40-44 歳	韓国	遠山(水石)、「思いのまま」(盆栽)
男性	40-44 歳	韓国	桜の木、黒松(以上、盆栽)、遠山(水石)
女性	40-44 歳	韓国	説明を面白くもら良かった。
女性	40-44 歳	韓国	遠山が、遠くから眺める山を意味するのが非常に興味深い。
男性	40-44 歳	中国	石と五葉松に興味がある。
女性	40-44 歳	中国	舍利はどうやってできたのか、水石は自然なものか、人工的なものか、どうして盆栽の植物が大きく育たないのか。
女性	40-44 歳	中国	作品の創作過程、アイデア、ポイント、ノウハウについて。
女性	40-44 歳	中国	盆栽と水石がとても面白い。特に水石・遠山は想像させられ、大好きだ。
女性	40-44 歳	台湾	行の間
女性	40-44 歳	中国	行の間、華の間と真の間での盆栽飾りについて
女性	40-44 歳	中国	行の間、華の間と真の間についての紹介
女性	40-44 歳	中国	盆栽の歴史などについてたくさん勉強できた。
女性	40-44 歳	中国	説明の図と実物が一致しないところがあった。例えば、行の間に掛け軸をかけてある場合があると説明を聞いたが、実際には掛け軸がなかった。
女性	40-44 歳	中国	盆栽と中日文化が関係があること。例えば行の間など。
男性	40-44 歳	中国	盆栽の種類と構造、盆栽の栽培法、格式による間の盆栽飾りについて。

3-9 その他

(1) 来館のきっかけ（沖縄県立博物館の独自設問）

- 回答全体では、「ガイドツアーがあったから」が17.8%と最も多く、次いで「たまたま来た」（17.0%）、「ツアーに組み込まれていた」（13.3%）、「口コミ」（12.6%）となっている。

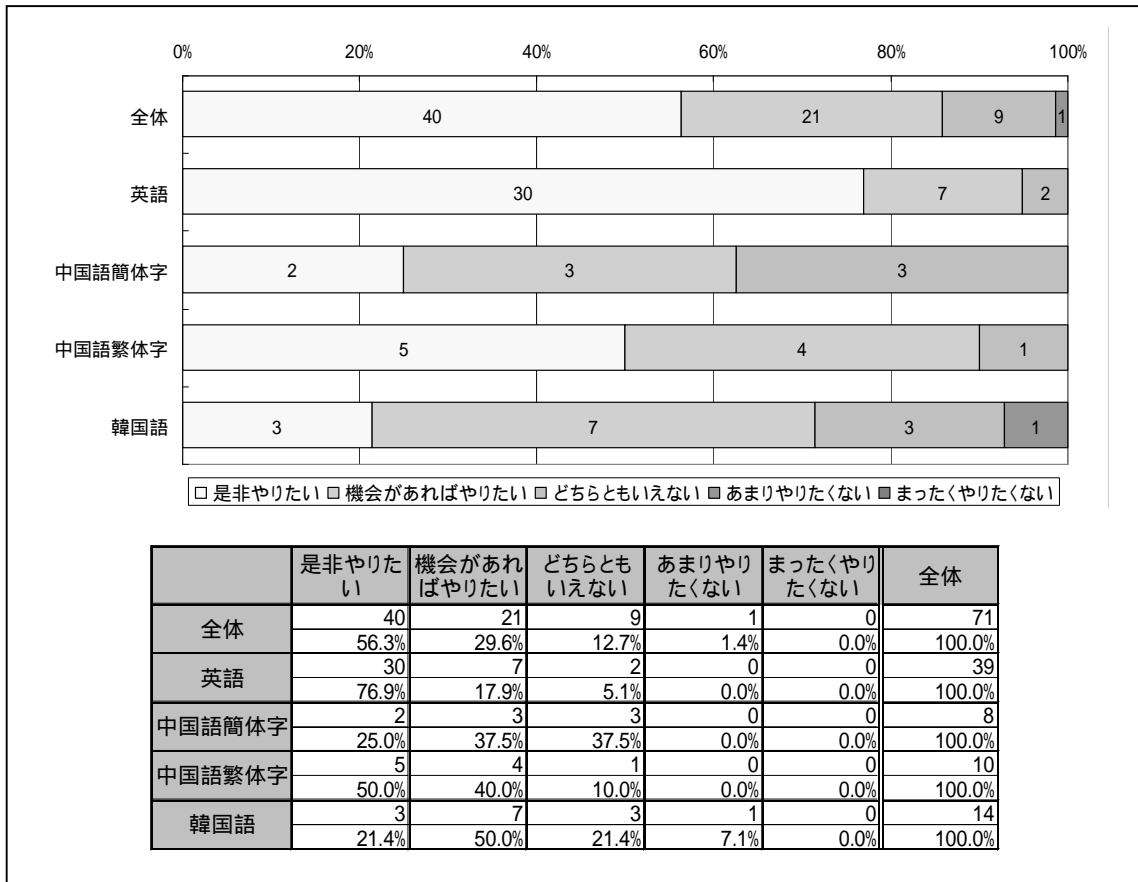
来館のきっかけ(沖縄県立博物館の独自設問)



(2) 回答者の居住地における盆栽栽培の意向（大宮盆栽美術館の独自設問）

- 回答全体では、「是非やりたい」が56.3%と最も多く、次いで「機会があればやりたい」が29.6%となっており、8割以上が居住地において盆栽栽培をしたいと回答している。
- 回答言語別に見ると、英語回答者では、8割近くが「是非やりたい」と回答しており、盆栽への関心が極めて高くなっている。

回答者の居住地における盆栽栽培の意向（大宮盆栽美術館の独自設問）



(3)ガイドツアーを通じた盆栽に対する見方の変化(大宮盆栽美術館の独自設問)

- ガイドツアーで解説を聞き、盆栽に対する見方が「大きく変わった」と回答した人が52.1%と最も多く、「部分的に変わった」と回答した人と合わせると、回答者の9割近くが見方が変わったと回答している。

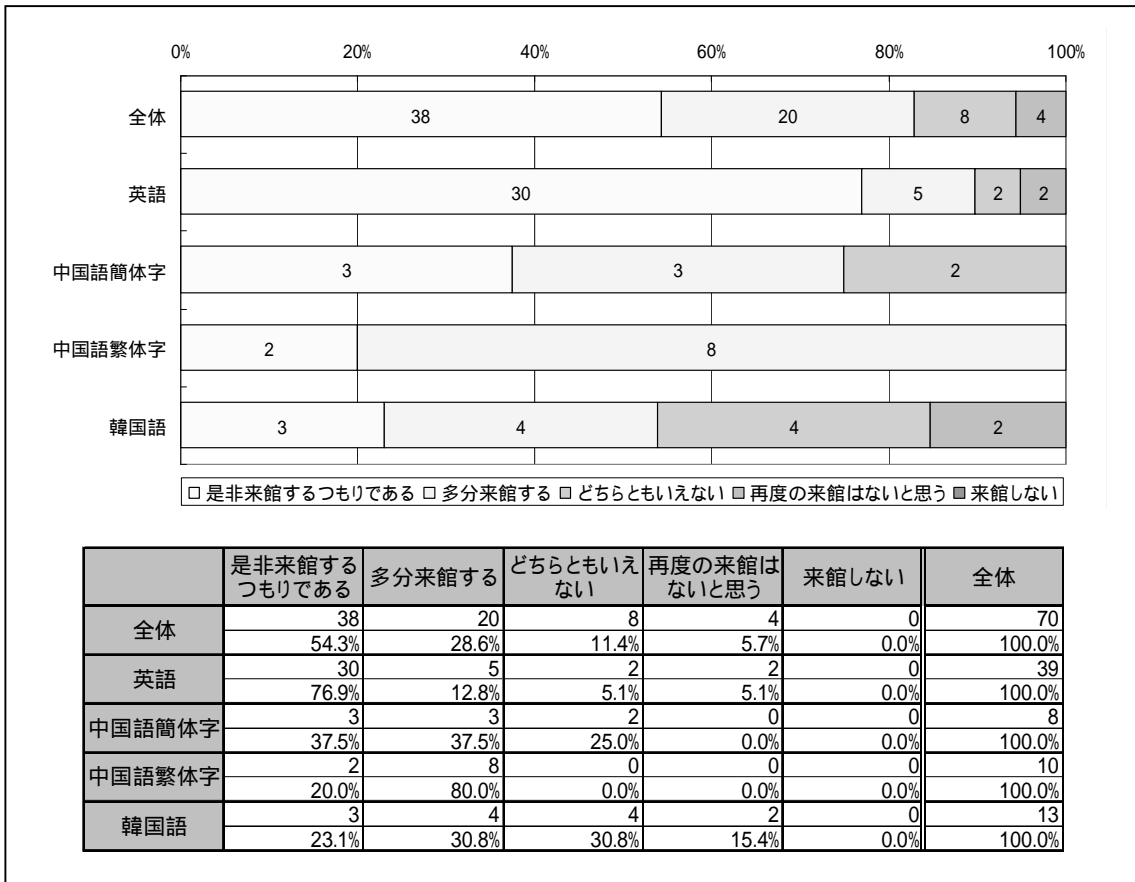
ガイドツアーを通じた、盆栽に対する見方の変化(大宮盆栽美術館の独自設問)



(4)再来館の意思 (大宮盆栽美術館の独自設問)

- 回答全体では、「是非来館するつもりである」が54.3%と最も多く、「多分来館する」と回答した人とあわせると、8割以上が再来館の意思を示している。
- 回答言語別に見ると、特に英語回答者では、「是非来館するつもりである」と回答する人が76.9%となっている。

再度の来館意思(大宮盆栽美術館の独自設問)



4 ヒアリング調査結果の内容

実施施設の担当職員及びガイドツアーを実際に担当した通訳案内士等に、今回の実証実験に関する意見、課題等についてヒアリングを行った。各館でのヒアリング結果をもとに、今後のガイドツアーの可能性や実施に向けた課題等について整理する（以下、発言者に関する注釈がないものは、基本的に各実施施設担当職員からのヒアリング内容）。

4-1 今後の博物館ガイドツアーの可能性

(1) 沖縄県立博物館

- ガイドツアーに参加する最大のメリットは、その場で質問できることである。ICTを利用したガイド（音声ガイド等）は実施されているところが多いが、外国語によるガイドツアーは日本国内の博物館等では珍しいのではないかと。（ガイドツアー参加者）
- 今回の実証実験で手応えを感じている。今回の統計を参考に、今後ガイドツアーの実施を検討して行きたい。
- 通訳案内士としても、是非ガイドツアーは恒常的に続けて欲しい。スキルアップにつながると思うし、沖縄県で活動する通訳案内士／地域限定通訳案内士の差別化にもなる（担当通訳案内士）。

(2) さいたま市大宮盆栽美術館

- 外国人入館者は今後も積極的に受け入れていきたい。当館は教育委員会管轄ではなく、市長部局直轄の文化施設として運営されており、また、盆栽文化の情報発信拠点、さいたま市の観光拠点として位置づけられている。周辺には集客効果が見込めるような観光施設が少ないと認識しているが、今回の実証実験の経験を生かし、機会があれば検討していきたい。なお、外国人受入体制整備の一環として音声ガイドシステムの導入を検討している。
- 訪日外国人は中長期的には増加傾向が見込まれるので、館内ガイドツアーに周辺の盆栽園や川越等の見学（観光）や周辺で開催されるお祭りとお祭りとお祭りとお祭りと組み合わせた展開とすれば、可能性はある（担当通訳案内士）。
- 個人旅行のお客様向きだと思う（担当通訳案内士）。
- これからは文化観光にもっと注力していくことが重要である。日本の良さを紹介する最良のメニューの一つである（担当通訳案内士）。
- ガイドツアーは、ICTを利用した館内展示案内と異なり、通訳案内士という外国語による外国人への案内に精通した「人」を介したホスピタリティに溢れた双方向の案内を受けられるという点が最大の売りである（ガイドツアー参加者）。

4-2 有償ガイドツアー実施に向けた課題

(1) 沖縄県立博物館

- 今回は準備期間が短かったように思う。今後、商品化する際には、もう少し準備期間が必要ということが今回の実証実験を通じて感じた。
- 研修後、1か月程度の準備・シミュレーション期間が欲しい。博物館に個人で訪れる外国人は、専門的な質問をする方が多く、相応の準備が必要である（担当通訳案内士）。
- 無料であればガイドツアーに参加する人は多いが、有料となると個人ではあまり申し込まないのではないかとこの危惧もある（担当通訳案内士）。
- 個人でガイドツアーに参加する方から、通常のガイド料をいただくことは現実的ではない。通訳案内士が、博物館等と契約してガイドツアーのサービスを提供するという形が現実的ではないかと思う（担当通訳案内士）。

(2) さいたま市大宮盆栽美術館

- 館内ガイドツアーについては、この実証実験で手応えを感じることができたので、受入体制整備を含めて引き続き研究していきたい。
- 通常業務では事前に自分で調べてから仕事に入っていくので、今回の実証実験についても、もう少し準備期間があればよかった（担当通訳案内士）。
- 個人のお客様から通常のガイド料をいただくのは難しいのではないかと。通訳案内士が美術館等と契約してガイドツアーのサービス提供を行なうことができるとよい（担当通訳案内士）。
- 有料化に向けた料金設定については、ふらっと立ち寄ったお客様が気軽に参加できるようにするためにも、美術館等で常勤勤務の形にするのが望ましいと思う。固定給にしたほうが就業可能な通訳案内士を確保できるのではないかと（担当通訳案内士）。

4-4 実施に当たっての問題点

(1) 沖縄県立博物館

- 今回、一般のお客様から「ガイドの案内の声が大きい」と1件クレームがあった。
- それぞれの通訳案内士個人の力量が問われるので、個人間のレベルの差が激しい。将来有料化するのであれば、マニュアルを整備し、個人間の力量の差が平準化されるような取組が必要である（担当通訳案内士）。

(2) さいたま市大宮盆栽美術館

- 実証実験期間中は、ガイドツアー受付デスクの配置の関係で、当館受付に問い合わせが多く寄せられ、また、ガイドツアーが実施されていることを知らずに来館されるケースも多く、このような本来業務以外の対応に時間をとられた面がある。
- 実証実験の実施期間に対し、体制を整えるための準備期間が短かった。もう少し準備期間があればよかったと思う。

- 外国人来館者の中に盆栽の専門家が多かったため（注：我が国における主要な盆栽関連のイベントである「国風盆栽展」開催中であったため、多くの外国人愛好者等が来日中であったことが影響しているものと考えられる）、盆栽に関する一般的な知識を紹介・解説する程度ではガイドツアーとして成立しにくい面があった（担当通訳案内士）。
- その意味では学芸員、盆栽技師の方によるギャラリートーク、盆栽講座等を通訳する形にした方が、専門知識を有するお客様層にはよいではないか（担当通訳案内士）。
- ガイドツアーの実施時間をあらかじめ設定するよりも、「ガイド（通訳案内士）の手が空いていれば随時ガイドツアーを実施する」という形のほうがふらっと立ち寄った人には参加しやすいと思う。
- 英語・中国語・韓国語のガイドツアーが全て同じ時間に始まると、グループが重なって大変かもしれないと実施前には思っていたが、実際にガイドツアーを行なってみて、始めにロビーで展示品などの説明をしたり、すぐに展示室内へ進んだりするなど、複数のグループが重ならない工夫をしたりすれば問題は回避できることが分かった（担当通訳案内士）。
- 費用がかかる話ではあるが、可能であれば通訳案内士が用いる言語で展示品の説明があれば、来館者の理解が進み、かつ、通訳案内士もガイドを行ないやすいので、なお良いと思う（担当通訳案内士）。
- ガイドツアーのデスク設置場所は、チケットブースと混同されないように、一目でチケット購入のカウンター（総合受付）とガイドツアーデスクとを判別できるようわかりやすい表示が必要ではないか（担当通訳案内士）。

5 実施結果の総括

5-1 参加者の全般的な評価及び導入の効果

- 今回、実証実験を行ったガイドツアーについては、参加した外国人来館者の100%近くが展示見学に役立った、満足したと回答しており、外国人旅行者に向けたサービスとして効果的であることが明らかとなった。
- 今回と同様のガイドツアーが、日本国内の他の博物館等で実施されていれば、その館に行こうと思うきっかけになるかについては、参加者全体の9割以上が、行くきっかけになると回答している。また、参加者の9割以上が、他の博物館等で同様のサービスがあった場合、また参加したいと回答している。
- 沖縄県立博物館では、来館したきっかけとして「ガイドツアーがあったから」という回答が最も多くなっており、外国語によるガイドツアーの実施が、外国人の利用促進を図る上で高い効果を発揮することが実証される結果となった。
- これらの点からも、今回のような通訳案内士によるガイドツアーの実施は、外国人旅行者の博物館利用の促進や博物館利用の満足度を高める効果があることがうかがえる。
- 今回のガイドツアーは参加料無料で実施したが、参加者の6割以上が有料でも参加すると回答している。一方、ICTを活用した解説案内システムについては、有料でも利用すると回答した方は3割強にとどまっており、ガイドツアーについては、有料での実施可能性が比較的高いことがうかがえる。
- ただし、料金設定については、参加者の9割以上が1,000円未満が妥当と回答しており、通訳案内士の報酬など、実施に係る経費をどのように確保するかが課題となる。

5-2 通訳案内士やガイドツアーに対する評価・課題

- ガイドツアーを実施した通訳案内士の言語レベルについては、参加者の9割以上が高いと評価している。また、参加者からの質疑への対応についても、9割近くが的確であると評価しており、通訳案内士資格保有者のスキルが高いレベルにあることが実証された。
- 今回のガイドツアーの満足した点については、参加者の7割以上が「理解できる言語で解説案内を聞いた」ことを挙げ、5割程度が「解説案内がわかりやすかった」、「作品について理解がより深まった」、「対応が丁寧、親切だった」ことを挙げている。
- 一方、今回のガイドツアーの改善点としては、参加者の2割程度が「解説作品数をもっと増やしてほしい」と回答しているものの、参加者の8割程度は、約30分間というツアー実施時間を「ちょうどよかった」と回答している。
- 参加者のニーズや興味・関心のレベル等によって、ツアーに求めるものが、当然のことながら異なり、実施にあたっては、所要時間や解説レベル等について、よりきめ細かな対応が必要ながうかがえる。

5-3 外国語対応が望まれるサービス

- 今回参加したガイドツアー以外で、自国語で受けたいサービスについては、「ウェブサイト」、「展示ガイドブック」、「館内案内表示」、「言葉が通じるスタッフ」、「展示に関する解説表示」を選択する割合が高く、「外国人旅行者のニーズ把握調査」やICTを活用した実証実験参加者へのアンケート調査結果とほぼ同様の傾向となっている。

5-4 今後の実施に向けた課題

- 沖縄県博、大宮盆栽ともに、実際にガイドツアーを実施した通訳案内士からは、個人でガイドツアーに参加する方からガイド料をいただくのは現実的ではないため、博物館等と通訳案内士が契約してガイドツアーのサービスを提供する形がよいとの意見が出ており、実施方法や実施に係る費用負担等が今後の課題として挙げられる。
- また、大宮盆栽では、館単独ではなく、館周辺の盆栽園や川越等の観光等と組み合わせた展開が考えられるとの意見が挙がっており、こうした可能性を含めて、今後の実施や実施施設拡大に向けた検討をさらに進める必要がある。